

「議会基本条例の検証作業に伴う平成29・30年度柴田町議会行動計画」の取り組み結果

A=達成した
 B=達成しているが改善余地あり
 C=達成していない
 D=取り組んでいない

改革項目	評価	取組内容
1. 情報公開のさらなる充実		
インターネット (Youtube) での議会中継の実施	A	平成29年度6月会議からYoutubeでの議会中継 (ライブ、オンデマンド) の運用を開始した。
会議録公開の範囲拡大	C	平成30年度議会運営委員会において、ホームページでの会議録公開を予算・決算特別委員会、議員全員協議会、議会運営委員会まで拡大する方針を決定した。また、本会議議事録については速報版の公開を検討することとした。これらについては、31年度以降に順次整備を行う。 会議録検索システムについては導入ができなかった。
SNS (Facebook、Twitter) の活用検討	C	SNSによる議会情報の発信は有効な手段であり、導入する方向性で進めていくことを平成30年度議会運営委員会で確認したが、運用面などの課題もあるため、31年度以降導入に向け引き続き検討することとした。
2. 議会懇談会で得た町民意見を政策形成へ反映するための手法の検討		
議会懇談会の参加者を増やす方策の検討	B	柴田高校3年生とのワールドカフェ形式の懇談会は平成29、30年度も継続して実施した。30年度は議員がファシリテーターを行い実施した。 一般懇談会については、29年度は議会においても話題に上がっていた「公共交通」をテーマに設定して実施。30年度はワークショップの手法を取り入れて実施した。
議会懇談会で寄せられた意見を政策へ反映するための実施方法、意見処理方法の検討	B	平成29年度から寄せられた意見を常任委員会ごとに確認し回答をする方法に変更し、今後議会として取り組むべき意見については、積極的に所管事務調査等に組み込むなど議会活動に反映させた。

3. 議員間の自由討議の実施		
自由討議の実施	A	議員全員協議会において、(仮称) 柴田町総合体育館建設及び第6次柴田町総合計画の案件について実施した。疑問点・論点を整理するためのワールドカフェ手法の活用や、議論を整理し見える化するためのホワイトボード、ワークシートの活用など、方法を検討しながら実施した。
柴田町議会自由討議実施要綱の再整備	A	上記の実施内容を踏まえ、平成30年度末に要綱を改正した。
4. 議会図書室の環境整備		
図書の整理（一部図書の閉架、データベース化）による蔵書スペース確保	A	平成29年度末に一部図書を閉架、あわせて資料の整理を行い蔵書スペースを確保した。また、図書室内設置パソコンにおいて、蔵書（一般図書）のデータベース化を行った。
5. 議決事件の拡大		
基本構想及び基本計画の策定を議決事件に追加	C	平成30年度中に策定予定だった次期基本構想及び基本計画を議決事件として追加するため調整を図ったが、見送ることとなった。なお、議会の意見を計画に反映するため、議員間討議を行い、基本構想及び基本計画に関しての提言書を取りまとめ、町長に提出した。
6. 政務活動費執行の透明化		
収支報告書のホームページでの公開	A	平成29年度分からホームページによる収支報告書、領収書の公開を実施した。
政務活動費運用基準の作成	A	平成30年度議会運営委員会で内容を協議し、作成した。あわせて、政務活動費の交付に関する条例及び規則を平成30年度末に改正した。

7. 柴田町議会災害対策マニュアルの見直しと活用		
再度全議員への理解を深める	B	平成 30 年 11 月、町の図上訓練（みちのく ALERT2018）と合わせ、議員安否確認訓練を実施した。また、マニュアルの実効性を高めるためのタブレット導入を見据え、平成 30 年 9 月に議員向けのタブレット研修を実施した。
マニュアル内容の再検討	A	平成 29 年度議会運営委員会において、先進地の久慈市議会を視察。その後の検討において、マニュアルの内容は改正の必要はないが、情報共有のためのタブレット活用が必要という結論を出した。